



## 『連合アクション！街頭行動』の取り組み



### 2024 春季生活闘争、価格転嫁の推進、過労死防止啓発に取り組む



挨拶する澤田精一連合福島会長

連合福島は、12月6日(水)の17:30より福島駅東口エスタビル前において「連合アクション街頭行動」を実施した。

年末を控え、3年にも及んだコロナ禍の影響や混乱する経済状況に伴い悪化する労働環境を踏まえ、2024 春季生活闘争、価格転嫁の推進、そして11月の過労死防止啓発月間を踏まえての取り組みとなった。

特に長時間労働是正をアピールしながら、「なんでも労働相談ダイヤル」「メンタルカウンセリング」の周知と浸透に努めた。今回も、連合福島役員の協力も得て取り組んだ。

冒頭、連合福島を代表し澤田精一会長は、『連合は、来年の賃上げに向けて「みんなで賃上げ。ステージを変えよう!」を合言葉に、2024 春季生活闘争の取り組みをスタートさせた。

また、福島県においては、適正な価格での公正な取引の実現に向け、今年9月1日、連合福島と行政および経済団体が相互に連携・協力し、適切な価格転嫁による地域経済の活性化に向けた共同宣言の締結を行った。現在、共同宣言がより実効性あるものとするために

も、働く仲間の皆さんはもとより、経営者の皆さんと共に情報共有、周知活動や相談活動など、適切な価格転嫁の推進の取り組みを展開している。

長期にわたるデフレ経済により定着した、安くて当たり前を前提とした考え方や取引慣行を変えることによって、福島の経済も、賃金も、物価も、安定的に上昇するよう、社会と経済を新しいステージに転換していかなければならない。そのためには、継続的な賃金の引き上げが絶対に必要である。

しかし、社会全体の賃金の引き上げは、中小企業での賃上げがカギを握っている。福島県においても中小企業の現場からは製品価格に適正な転嫁ができない、そして社員を確保できないという悲鳴が相次いで聞こえてくる。中小企業で働く仲間の賃金の引き

上げ実現に向けては、適切な価格転嫁を着実に進め、サプライチェーン全体で生み出した付加価値が適正に分配されなければならない。

連合福島は、適正な価格転嫁、適正な価格での取引が行われ、経済も賃金も物価も安定的に上昇する経済社会へとステージの転換を図り、そして 2023 年を上回る賃上げを実現めざしていく。私たち労働組合が先頭に立って企業に対し要求・交渉し、その成果を公表し、組合のない職場をはじめとする社会全体に広げていく』と挨拶した。

最後に、連合福島・鈴木貴也副会長より連合福島の取り組みアピールをし、街頭行動を打ち上げた。街頭では、チラシ付ティッシュを配るなど通行される市民に訴えた。



取り組みアピールをする鈴木副会長



チラシ付きティッシュを配布